

本資料は IAQG OPMT が作成した補足規定 004 を和訳したものである。日本語訳は参考和訳であり、英文と相違がある場合は、英文が優先される。



## International Aerospace Quality Group (IAQG) Other Party Management Team (OPMT) Supplemental Rule 004-Rules for 9104 Series Transition

初版発行日:2022年2月18日

改訂:NA

### 目的:

本補足規定 (SR) は、IAQG Industry Controlled Other Party (ICOP) Aerospace Quality Management System (AQMS) 認証スキーム内の利害関係者に対し、9104:2022シリーズ規格および9101:2022規格への移行に関する要求事項を定めたものである。本補足規定は、IAQG執行委員会 (EC) が承認した移行タイムライン (11節参照) を支持し、実施するものである。

なお、この補足規定で点線の下線を施してある箇所は、IAQG OPMTによって作成された補足規定にはない事項である。

### 範囲:

この補足規定 (SR) は、次の利害関係者に適用される。

- IAQG Other Party Management Team (OPMT)
- 地域管理委員会 (RMS) (従来は認証機関管理委員会 (CBMC) と呼称していた) を含むセクター管理委員会 (SMS)
- 認定機関 (AB)
- 認証機関 (CB)
- AQMS 被認証組織
- 審査員資格証明機関 (AAB)
- 資格証明された AQMS 審査員 (AAs)
- 研修提供者承認機関 (TPAB)
- 研修提供者 (TP)
- 業界 (OP) 監査員

### 参照規格:

- 9104-1 航空、宇宙及び防衛分野の品質マネジメントシステムの認証に対する要求事項
- 9104-2 Requirements for the Oversight of Aviation, Space, and Defense Quality Management System Certification Programs
- 9104-3 航空宇宙審査員の研修、開発、力量及び資格証明に関する要求事項
- 9101 Requirements for Conducting Audits of Aviation, Space, and Defense Quality Management Systems

注: リストされた参照規格の適用可能なバージョンは、この SR の本文に含まれる。

### 一般:

すべての利害関係者は、本補足規則で特定されたタイムライン内に、改訂された 9104:2022 シリーズおよび 9101:2022 規格への適合を確実にしなければならない。目標が達成されない場合には、関連する事業者が措置を実施しなければならない。

利害関係者は、確立されたすべてのマイルストーンを満たすか、またはそれを上回るものとし、11 項に定義された移行終了日が満たされることを確実にしなければならない。IAQG は、9104:2022 シリーズおよび 9101:2022 が 2024 年 1 月 1 日の移行完了日まで確実に実施されるようプロセスを管理する。

注: IAQG OPMT は、IAQG の Web サイトにある 9104 シリーズと 9101 規格の展開支援文書の一部として、移行をサポートするために FAQ (よくある質問) ログを維持する。

### ICOP スキームの利害関係者への要求事項:

1. IAQG OPMT は、以下を実施しなければならない。
  - 1.1 2022 年 6 月 30 日までに 9104-1:2022 に規定された要求事項を実施する。
  - 1.2 移行をサポートするために、AB、CB、認証組織に情報を提供する。
  - 1.3 移行状況を報告するプロセスを実施する。報告書は、OASIS データベースを介して入手し、要求に応じて IAQG EC に提供しなければならない。
  - 1.4 オーバーサイトおよび承認されたトレーニング資料に関するサポート情報と最新情報を提供する。(例: OP Assessor トレーニングなど)。
  - 1.5 移行タイムラインに必要な変更について IAQG EC の承認を得る。
  - 1.6 セクション 11 のタイムラインで参照されている移行完了日から 3 ヶ月以内に 9104 シリーズ文書の以前のバージョンが廃止されたことを連絡する。
2. セクター管理機構 (SMS) (適用される RMS を含む) は、以下を実施しなければならない。
  - 2.1 2022 年 6 月 30 日までに 9104-1:2022 要求事項を実施する。
  - 2.2 改訂された規格に対する RMS の再承認プロセスを実施する。RMS は、9104-1:2022 要求事項の実施に際し SMS の承認を要請しなければならない。
  - 2.3 9104 シリーズ規格への移行完了を評価し、移行目標 (是正処置、一時停止、取消しなど) を満たしていないことに対処するための適切な措置を講じる。
  - 2.4 9104-1:2022 規格に対する AB の認可プロセスを実施する。このプロセスには、文書化された AB 適合の証拠、および IAQG OASIS (On-line Aerospace Supplier Information System) データベース内の認可ステータスの更新を含めなければならない。
  - 2.5 2024 年 1 月 1 日以降のオーバーサイト活動が、9104-2:2022 規格の要件に従って計画され、実施されることを確実にする。
  - 2.5 AAB および TPAB の 9104-3:2022 規格に対する認可プロセスを実施する。
  - 2.6 9104 シリーズ規格を参照しているセクター固有の規格または文書が、必要に応じて更新または取り下げられていることを確実にする。
  - 2.7 要求に応じて IAQG OPMT へ移行状況指標を提供する報告プロセスを実施する。報告書は、OASIS データベースを介して入手し、要求に応じて IAQG OPMT に提供しなければならない。

注：改訂された規格への適合性を評価する手段として、AB(事務所審査)、AAB、TPABの共通オーバーサイト活動を用いることができる。

**3. 認定機関 (AB) は、以下を実施しなければならない。**

- 3.1 2022年12月31日までに9104-1:2022規格の要求事項を実施する。ABはその実施の上SMSまたはRMSの承認を要請しなければならない。  
注：2022年7月1日までにABがSMSまたはRMSの承認を受ける準備ができていると期待される。
- 3.2 セクション11のタイムラインに従ってCBの9104-1:2022への移行を監視し、移行目標が達成されていない場合には適切な措置を講じる。(是正処置、一時停止、取消しなど)
- 3.3 該当するSMSまたはRMSにレポートを提供する。これには、CBの9104-1:2022認定の目標日が含まれる。このレポートは移行期間中も最新の状態に維持され、SMSまたはRMSからの要求に応じて提供されなければならない。
- 3.4 2024年4月1日に9104-1:2012/2013で認定された全CBの認定を取り消す。
- 3.5 ABは、移行プロセス及び手順書が適合し、理解されていることを確認するために、CBの事務所審査を実施しなければならない。

注1：移行審査はリモートで行うことができる。

注2：ABは、2022年中は、9104-1:2022に移行する前に確立された審査プログラムを継続することができる。

**4. 認証機関 (CB) は、以下を実施しなければならない**

- 4.1 2023年6月30日までに9104-1:2022の要求を実施する。実施に際して、CBはそれぞれのABに認定の申請を提出する。

注：2022年10月1日までに、CBがABの評価に対応できる準備が完了されていることが期待される。

- 4.2 9104-1:2022および9101:2022の基準を適用した審査を実施する前に、すべての被認証組織に対して組織認証分析プロセス(OCAP)のレビューを実施する。
- 4.3 認証構造または審査プログラムの変更に関して、各クライアントに情報を提供する。
- 4.4 9104-1:2022への認定から90日以内に、計画され実施されるすべての初回、サーベイランス審査、再認証審査および特別審査が、9104-1:2022および9101:2022の要求事項に適合することを確実にする。

注：CBは、現地審査が9104-1:2022の(認定日+90日)より前に開始された場合、旧版の要求事項に対するサーベイランス及び再認証審査を完了してもよい。

- 4.5 移行サーベイランスまたは再認証審査の前に、それらの一部として、リモート特別審査を使用して被認証組織の移行および9104-1:2022への適合を記録する。OASISデータベース認証文書修正プロセスは、AQMS認証の移行に使用してはいけない。

注1:OASIS データベースでは、AQMS 認証文書の改訂を可能にするために、審査を「特別審査付き」として計画する必要がある。

注2: 移行のための特別審査活動には、9104-1:2022 のサーベイランス又は再認証審査要求を超える認証審査の工数又は審査工数は、義務付けられていない。認証構造に変更がある場合、追加の工数が必要になることがある。

- 4.6 移行を検証するために使用されるサーベイランスまたは再認証の審査は、該当する場合には9104-1:2022の9.1項および9.2項の要件であるOCAP分析及び効果的な適用の為に用いられる情報およびデータの妥当性確認を含むことを確実にする。
  - 4.7 認証を受けた組織が既にASRP審査プログラム(9104-1:2012/2013およびIAQG OPMT Resolution #156による)を利用していない限り、サーベイランス審査中にPerformance Based Surveillance/Recertification Process (PBS/RP)への登録または移行が行われないことを確実にする。
  - 4.8 移行が検証された、特別審査を含むサーベイランスまたは再認証審査の完了後に認証決定を行う。その他すべての要求事項に加えて、認証決定は以下を確実にする。
    - 4.8.1 利用されたAQMS規格(例:9100、9110、9120)は、組織の認証範囲に基づいて有効である。(複数のAQMS規格の利用も可能である。)
    - 4.8.2 OCAP分析および審査プログラムが検証されている。
    - 4.8.3 認証された組織は、再認証審査を受けていない場合、新たな3年間の認証を付与されない。
  - 4.9 AQMS認証文書が、認証決定後に9104-1:2022規格への適合を反映するように改訂または更新されていることを確実にする。
  - 4.10 各AQMS認証文書の発行または再発行後、9104-1:2022の要求事項に従ってOASISデータベースを更新および検証する。
- 5 AQMS 被認証組織は、以下を実施しなければならない。**
- 5.1 CBと協力して、該当する認証構造を決定または確認する。
  - 5.2 選択した認証構造が、顧客、規制、またはその他の要求事項と矛盾しないことを確実にする。
  - 5.3 9104-1:2022移行審査の少なくとも90日前に、OCAP分析に必要な情報をCBに提供する。
- 6 審査員資格証明機関(AAB)は、以下を実施しなければならない。**
- 6.1 2023年4月30日までに9104:2022規格の要求条件を実施する。実施に際して、AABはSMSまたはRMSの承認を要求する。
  - 6.2 継続的専門能力開発(CPD)および審査経験の要求事項を除き、実施後の再資格証明に関するすべての新しい9104-3:2022要求事項を適用する。9104-3:2022発行後の審査員の最初の再資格証明は、以前の要求事項である15時間のCPD及び4回のAQMS審査は引き続き適用しなければならない。その後の再資格証明は、9104-3:2022のすべての新しい要求事項を適用する。

6.3 承認後、資格証明要件の変更および資格証明を維持するために必要な実施事項を記述した通知を、資格証明されたすべての AQMS 審査員に提供する。

**7 資格証明された審査員 (AAs) は、以下を実施しなければならない。**

- 7.1 AAB と連携して、資格証明状況を確認する。
- 7.2 2023 年 5 月 1 日までに、IAQG が義務付けている 9104:2022 シリーズおよび 9101:2022 移行トレーニングを完了する。
- 7.3 CPD および審査経験の要求事項を除き、再資格証明にはすべての 9104-3:2022 要求事項を適用する。9104-3:2022 発行後の最初の再資格証明については、以前の要求事項である 15 時間の CPD および 4 回の AQMS 審査を引き続き適用する。その後の再資格証明は、9104-3:2022 のすべての新しい要求事項を適用しなければならない。
- 7.4 各 AQMS 審査時に適用する 9104-1 および 9101 の版数を CB に確認する。
- 7.5 2023 年 7 月 1 日から 9104-1:2022 および 9101:2022 規格に従って、新規の初回 AQMS 審査を実施する。

**8 研修提供者承認機関 (TPAB) は、以下を実施しなければならない。**

- 8.1 2023 年 4 月 30 日までに 9104:2022 規格の要求事項を実施する。実施に際して、TPAB は SMS または RMS の承認を要求しなければならない。
- 8.2 承認後、承認要件の変更、承認を維持するために必要な措置、および 9104-3:2022 に従って定義された訓練コースの承認の取り決めを記載した通知をすべての承認済み研修提供者に提供する。

**9 承認された研修提供者 (TP) は、以下を実施しなければならない。**

- 9.1 2023 年 4 月 30 日までに 9104:2022 シリーズ規格の要求事項を実施する。TP は、実施に際して TPAB の承認を申請しなければならない。
- 9.2 承認を維持するために必要な TPAB で定義されたアクションに対応する。
- 9.3 TPAB の承認後、9104-3:2022 に従って定義された研修コースの承認を申請する。

**10 OP 監査員は、以下を実施しなければならない。**

- 10.1 SMS または RMS と協力して OP 監査員の分類を見直す。
- 10.2 IAQG が規定している 9104:2022 シリーズおよび 9101:2022 移行トレーニングを完了する。
- 10.3 2024 年 1 月 1 日以降のオーバーサイト活動が 9104-2:2022 規格の要求事項に従って実施されることを確実にする。

**11 移行タイムライン:**

- 11.1 9104:2022 シリーズおよび 9101:2022 移行の開始日は 2022 年 1 月 1 日とする。
- 11.2 表 1 に示されている利害関係者の 9104:2022 シリーズおよび 9101:2022 移行の完了日は 2024 年 1 月 1 日とする。

注: AQMS 認証された組織は、9104-1:2022 への移行審査および AQMS 認証の決定を 2024 年 1 月 1 日以降実施する場合もある。

11.3 表 1 に、利害関係者別の移行完了日を示す。

利害関係者	移行完了日
IAQG OPMT	2022 年 6 月 30 日
SMS 及び RMS	2022 年 6 月 30 日
AB（認定機関）	2022 年 12 月 31 日
AAB（審査員資格証明機関）	2023 年 4 月 30 日
TPAB（研修提供者承認機関）	2023 年 4 月 30 日
TP（研修提供者）	2023 年 4 月 30 日
CB（認証機関）	2023 年 6 月 30 日

表 1:利害関係者別の移行完了日